

乗合タクシーの本格運行に向けた 乗降場所の追加及び運行時間の検討

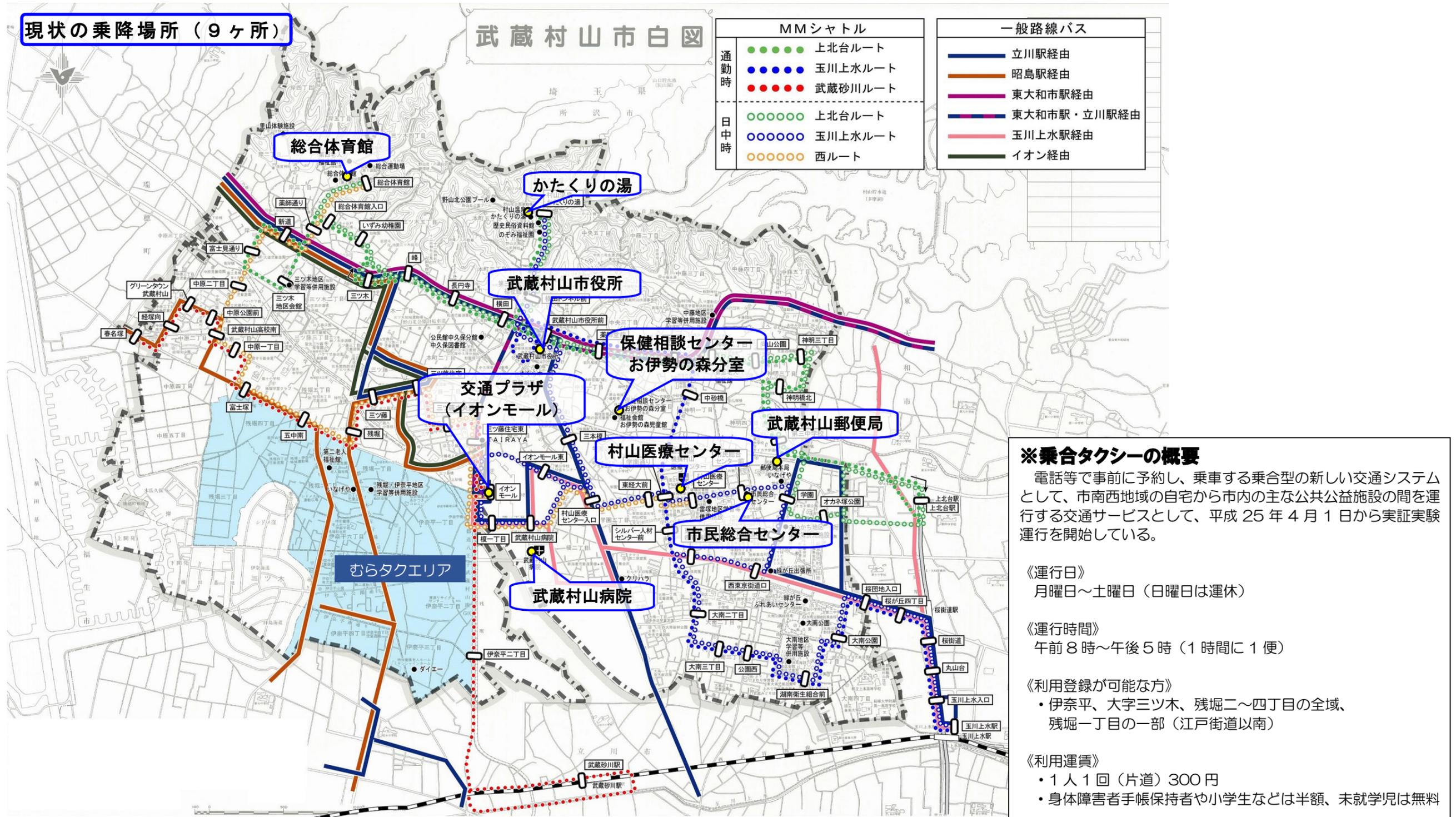
<目 次>

| | | |
|----------|-------------|---|
| 1 | 乗降場所の追加について | 1 |
| 1.1 | 現状整理 | 1 |
| 1.2 | 追加する乗降場所の検討 | 2 |
| 2 | 運行時間の検討について | 8 |
| 3 | まとめ | 9 |

1 乗降場所の追加について

1.1 現状整理

乗合タクシー（むらタク）は、一般のタクシー運行とは異なり、特に公共性の高い施設への移動手段を確保するため、市南西地域内の自宅から市内公共公益施設（図中の9ヶ所）を運行している。



1.2 追加する乗降場所の検討

(1) 過年度までの流れ

平成25年7月に実施した利用者アンケート結果を踏まえ、運行開始当初の乗降場所（6ヶ所）に加えて、平成26年10月から「かたくりの湯、総合体育館、武蔵村山郵便局」への運行を開始している。

これにより、現行の乗降場所（9ヶ所）となっている。

▼アンケート調査の概要と設問例

【実施期間】平成25年7月22日から8月5日

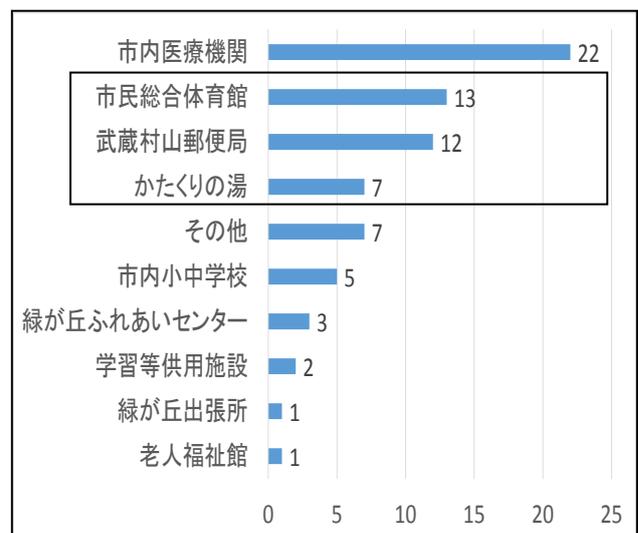
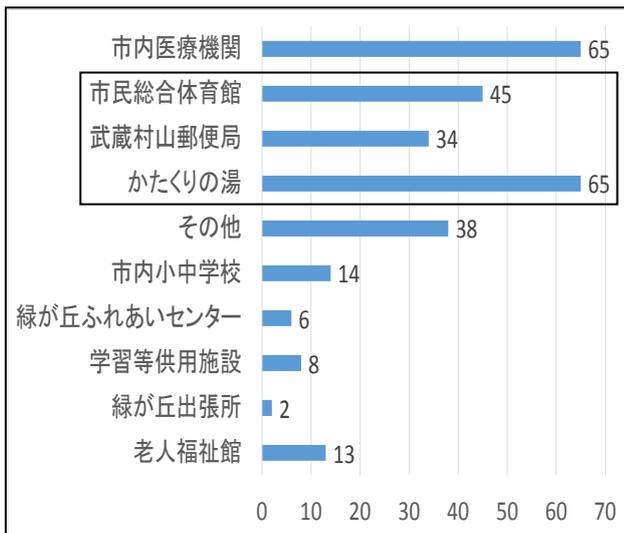
| 対象者 | | 世帯数 | 回収結果(世帯数) | 回収結果(割合) |
|-----|--------------------------------------------------|-------|-----------|----------|
| ① | 平成25年6月28日までに利用者登録を済ませた者がいた世帯 | 178世帯 | 97世帯 | 54.4% |
| ② | 対象地域に居住する20歳以上の市民が属する世帯から無作為抽出した世帯 (利用者未登録世帯) | 140世帯 | 25世帯 | 17.9% |
| 合計 | | 318世帯 | 122世帯 | 38.4% |

【参考】上記アンケートの設問

「むらタク」の目的地として追加して欲しい施設はありますか。※3つまで選択可能。

| | |
|---------------|-----------|
| ① 総合体育館 | ② かたくりの湯 |
| ③ 緑が丘出張所 | ④ 武蔵村山郵便局 |
| ⑤ 学習等共用施設 | ⑥ 市内小中学校 |
| ⑦ 緑が丘ふれあいセンター | ⑧ 老人福祉館 |
| ⑨ 市内医療機関 | ⑩ その他 |

▼回答結果（左：①利用者登録世帯、右：②無作為抽出世帯）



※枠内の3施設については、乗降場所として追加済

(2) 意見交換会からの考察

平成27年2月に実施した意見交換会では、乗合タクシーの概要や利用状況、市の財政負担等の状況等について説明した。また、上記の説明を踏まえながら、改善が必要と思う点、乗合タクシーで行きたい場所などについてグループに分かれて意見交換を行った。

| 日程 | 時間 | 会場 | 所在地 |
|---------|-----------|-----------------|-----------|
| 2月6日(金) | 午前10時～正午 | 第二老人福祉館(会議室) | 残堀2-22-1 |
| 2月6日(金) | 午後7時～午後9時 | 残堀・伊奈平地区会館(実習室) | 残堀1-60-3 |
| 2月7日(土) | 午前10時～正午 | 伊奈平自治会館(集会室) | 伊奈平2-55-1 |

1) 対象

対象は、残堀・伊奈平地域居住者を主としたが、地域外からの参加も可能とした。

2) 乗降場所に対する意見

追加する乗降場所を検討するため、どのような施設への運行が望まれているのか整理した。

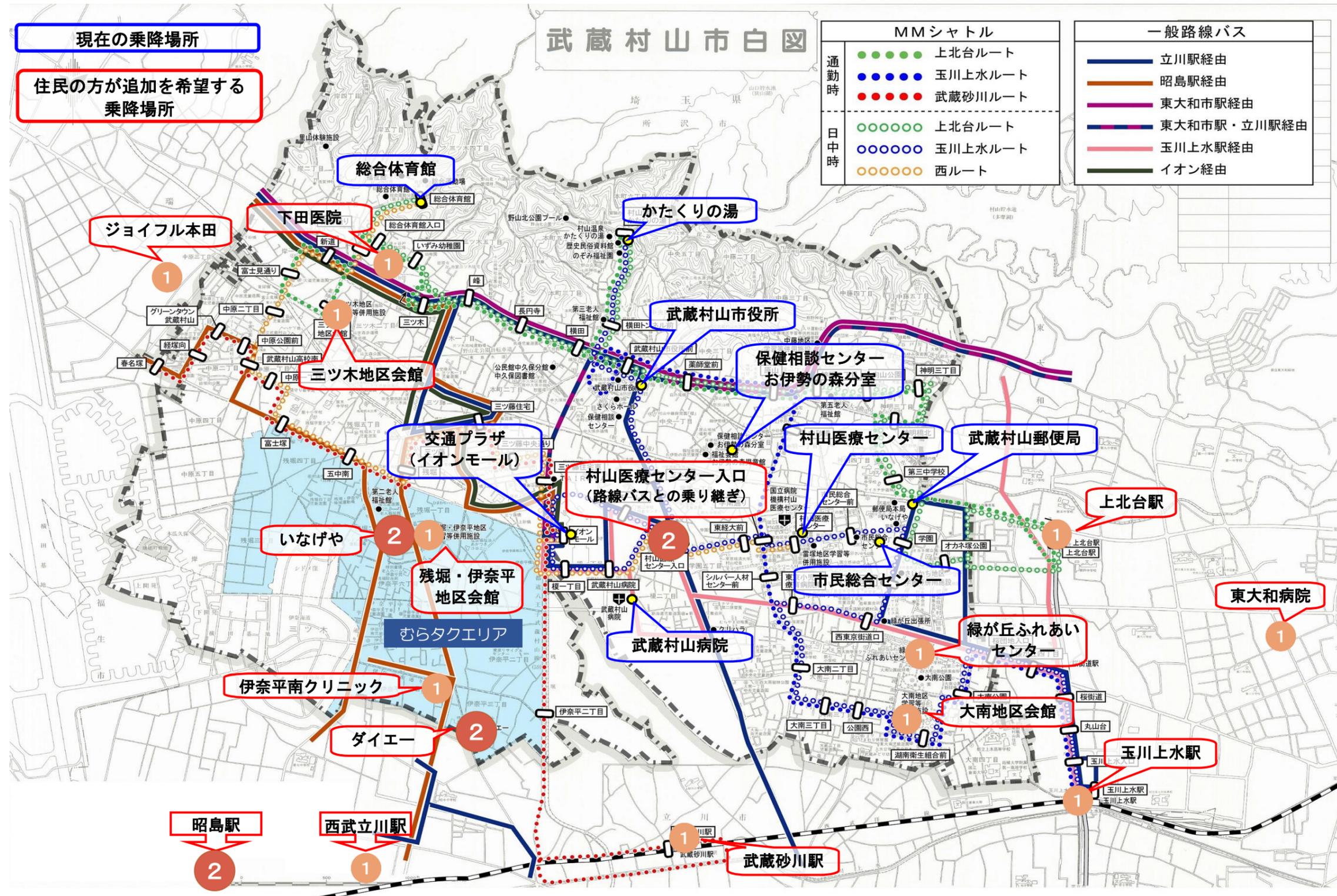
特に際立って票数が多い施設はないが、スーパーや地区会館、病院、緑が丘ふれあいセンターなどの意見があった。

また、市外の鉄道駅へのアクセスニーズが高い。駅以外では、路線バスの本数が多い村山医療センター入口という意見もみられた。

▼追加して欲しい乗降場所

| 種別 | 施設等 | 要望数 |
|------------|------------------------|-----|
| 公共公益施設 | 残堀・伊奈平地区会館 | 1 |
| | 三ツ木地区会館 | 1 |
| | 大南地区会館 | 1 |
| | 緑が丘ふれあいセンター | 1 |
| 個人病院・スーパー等 | いなげや | 2 |
| | ダイエー | 2 |
| | 伊奈平南クリニック | 1 |
| | ジョイフル本田 | 1 |
| | 下田医院 | 1 |
| その他 | 村山医療センター入口(バス停) | 1 |
| 駅 | 昭島駅 | 2 |
| | 武蔵砂川駅、西武立川駅、玉川上水駅、上北台駅 | 各1 |

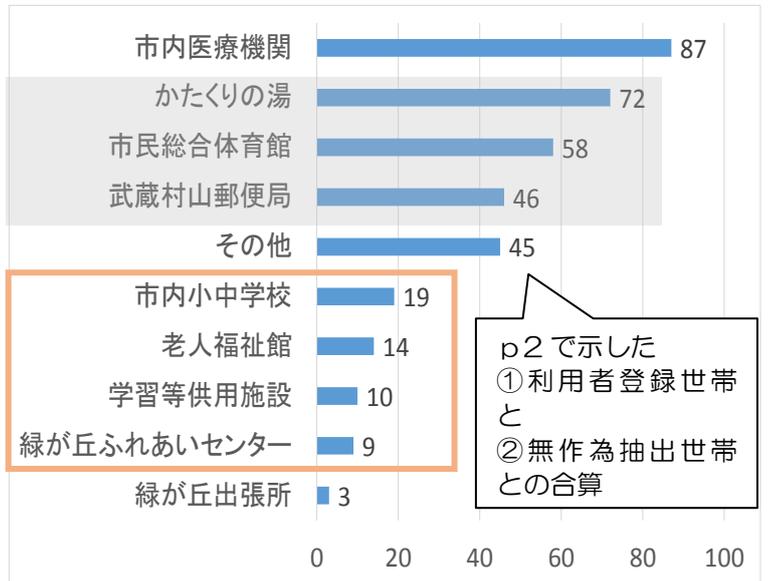
3) 各乗降場所の位置関係 (※白抜き数字は、当該施設への乗降を希望する意見の数を表す)



(3) アンケート調査及び意見交換会のまとめ

1) アンケート調査

- 利用者登録世帯からの回答と無作為抽出世帯からの回答とを合算した結果を右に示す
- 既に乗降場所として設定されている「市民総合体育館」「武蔵村山郵便局」「かたくりの湯」を除くと、「市内小中学校」「老人福祉会館」「学習等供用施設」「緑が丘ふれあいセンター」などへの運行を希望する意見がみられる。



2) 意見交換会

- 票数に大きな差はない。
- アンケートと同施設のものとしては、「地区会館（学習等供用施設）」「緑が丘ふれあいセンター」といった公共公益施設への意見が同様に見られた。
- アンケートと異なる意見としては、個人病院・スーパー、駅、バス停（村山医療センター入口）といった意見があった。



(4) 追加する乗降場所

アンケート調査及び意見交換会であがった要望を踏まえて、追加する乗降場所を検討する。乗合タクシーの意義が、市南西の特定の地域の自宅から「市内の主な公共公益施設」の間を運行する交通サービスであることを鑑み、以下の4か所を新しい乗降場所と設定する。

| 施設名 | 評価 | 理由 | 周辺にある要望施設 |
|----------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 残堀・伊奈平 地区会館 | ○ | ・ <u>地区住民がよく利用する施設である</u> 残堀・伊奈平地区の住民にとっては、自宅近辺の拠点施設に対するアクセス性が向上することになる。 | いなげや |
| 三ツ木 地区会館 | ○ | ・ <u>公共公益施設としての機能を持っている</u> 図書館などが併設されている他、館内には学習室・実習室・集会室といった様々なスペースが確保されており、地域のコミュニティ活動の場となっている。 | — |
| 第二老人 福祉館 | ○ | ・ 高齢者が日常的に利用する施設である。 地区会館同様むらタクの運行区域内であるが、高齢者の需要が多く、多くの利用者がいる。 | — |
| 緑が丘 ふれあい センター | ○ | ・ <u>市民にとって貴重なコミュニティ施設である</u> 武蔵村山市に唯一存在するコミュニティ施設であり、緑が丘コミュニティセンター・男女共同参画センター・第一老人福祉館を利用できる。 「緑が丘コミュニティセンター」では、ヨガ、介護予防、英会話などの様々な団体が活動している。 「男女共同参画センター」では、男女共同参画社会・ダイバーシティ推進に関する学習機会の提供や多様な人々のつながりのきっかけづくりを目指したイベントが開催されている。 | 大南 地区会館 |
| 村山医療 センター入口 (路線バスと の接続) | △ | ・ <u>交通結節点機能を担っている</u> JR および多摩モノレールが乗り入れている立川駅行きの路線バスが多く運行しており、鉄道駅へのアクセスニーズへの対応が可能となる。しかし、具体的な乗降場所(施設)の選定等が必要となるため、調整が必要。 ※交通プラザも交通結節点機能を担っているが、立川駅行きの路線バスは少ない。 | — |
| 市内小中学校 | × | ・ <u>通常の通学での利用は考えにくい。</u> 以前、特別支援学級等への通学に利用したいとの要望があったが、現在は福祉施策で対象者にタクシー券を配布し対応している。 | — |
| スーパー、 個人病院等 | × | ・ <u>公共公益施設ではないので、むらタクによるサービスの提供は想定しない</u> | — |
| 鉄道駅 | × | ・ <u>MMシャトルや路線バスと競合する可能性がある</u> ・ <u>容量(乗車定員)を大きく超える需要が想定される</u> | — |

▼「村山医療センター入口」のバスの運行状況等

立川バス HP より作成



| 行先/時 | 立川駅北口 立川消防署・立川警察署・災害医療センター経由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 平日 | | | | 土曜 | | | | 休日 | | | | | | | | | | | |
| 5 | 32 | 40 | 47 | 56 | 32 | 40 | 47 | 56 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 02 | 10 | 17 | 24 | 31 | 36 | 46 | 02 | 09 | 17 | 24 | 31 | 35 | 44 | 06 | 18 | 29 | 40 | 50 | |
| 7 | 03 | 10 | 16 | 25 | 29 | 37 | 43 | 03 | 09 | 16 | 23 | 30 | 38 | 46 | 03 | 16 | 25 | 38 | 49 | 59 |
| 8 | 03 | 10 | 18 | 26 | 35 | 46 | 57 | 00 | 07 | 14 | 22 | 29 | 38 | 47 | 09 | 19 | 29 | 39 | 49 | 58 |
| 9 | 07 | 17 | 27 | 34 | 46 | 56 | 05 | 16 | 26 | 36 | 45 | 56 | 05 | 16 | 25 | 36 | 46 | 56 | | |
| 10 | 06 | 16 | 26 | 37 | 45 | 57 | 07 | 18 | 29 | 37 | 47 | 55 | 06 | 16 | 26 | 35 | 45 | 56 | | |
| 11 | 06 | 13 | 27 | 33 | 46 | 56 | 06 | 15 | 26 | 37 | 50 | 06 | 15 | 27 | 37 | 50 | | | | |
| 12 | 06 | 13 | 28 | 36 | 43 | 56 | 01 | 12 | 24 | 36 | 49 | 03 | 14 | 24 | 36 | 49 | | | | |
| 13 | 06 | 13 | 26 | 36 | 45 | 56 | 01 | 14 | 27 | 40 | 52 | 01 | 14 | 28 | 38 | 52 | | | | |
| 14 | 06 | 15 | 28 | 36 | 46 | 54 | 04 | 16 | 30 | 43 | 54 | 04 | 16 | 30 | 43 | 54 | | | | |
| 15 | 07 | 15 | 26 | 35 | 46 | 56 | 05 | 15 | 25 | 37 | 50 | 05 | 15 | 25 | 38 | 50 | | | | |
| 16 | 06 | 17 | 25 | 36 | 46 | 57 | 01 | 14 | 25 | 38 | 50 | 01 | 14 | 25 | 38 | 50 | | | | |
| 17 | 04 | 15 | 24 | 33 | 44 | 54 | 01 | 14 | 25 | 36 | 46 | 56 | 01 | 14 | 25 | 36 | 45 | 56 | | |
| 18 | 04 | 14 | 22 | 34 | 45 | 55 | 06 | 16 | 25 | 38 | 49 | 06 | 16 | 25 | 38 | 49 | | | | |
| 19 | 05 | 15 | 24 | 35 | 45 | 56 | 01 | 14 | 27 | 40 | 52 | 01 | 14 | 27 | 40 | 52 | | | | |
| 20 | 07 | 21 | 30 | 4 | 51 | 04 | 17 | 29 | 44 | 59 | 04 | 17 | 29 | 44 | 59 | | | | | |
| 21 | 01 | 12 | 26 | 39 | 16 | 31 | 51 | 16 | 31 | 51 | 16 | 31 | 51 | | | | | | | |
| 22 | 07 | 20 | 33 | 45 | 06 | 30 | 50 | 06 | 30 | 50 | 06 | 30 | 50 | | | | | | | |
| 23 | 00 | 15 | 34 | 56 | 15 | | | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |

七印=砂川七番経由
深印=深夜バス(運賃)

朝～夕方においては、6本/時間(平均10分間隔)の運行頻度となっている。

2 運行時間の検討について

集計を行った3ヶ月間（平成26年12月～平成27年2月の運行日数69日間）の時間帯別の稼働率を右に示す。

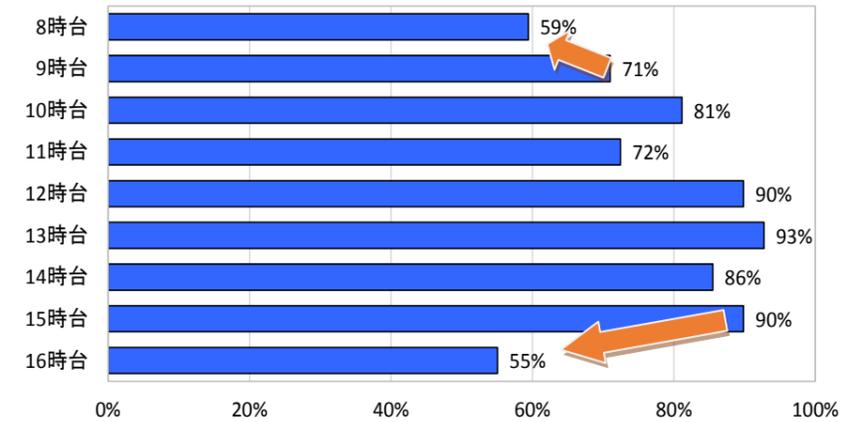
現状

- 8時台と16時台は稼働率が低い。
- 特に16時台は稼働率が急激に低下している。

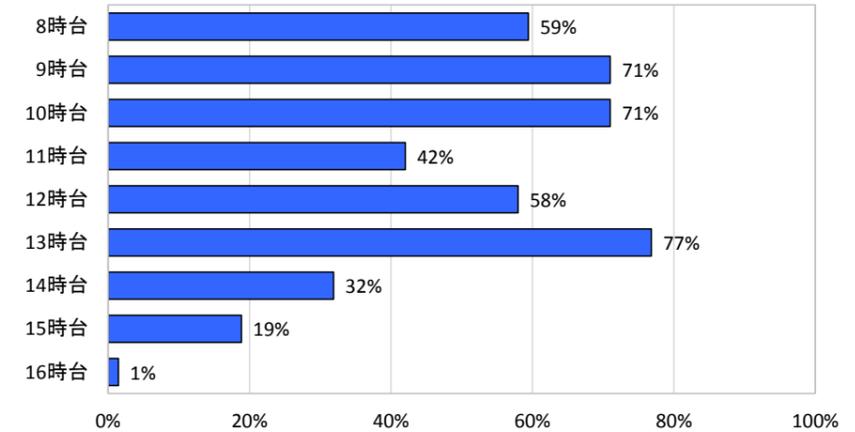
本格運行に向けて

- 現在の8時～17時の運行時間をさらに拡大しても、利用者の増加は見込みにくい。
- 効率性や採算性を考えると、現在の8時～17時を基本とした運行とすることが現実的である。
- 現行の体制（運転手1人、運行車両1台）では、運行時間の拡大は困難である。

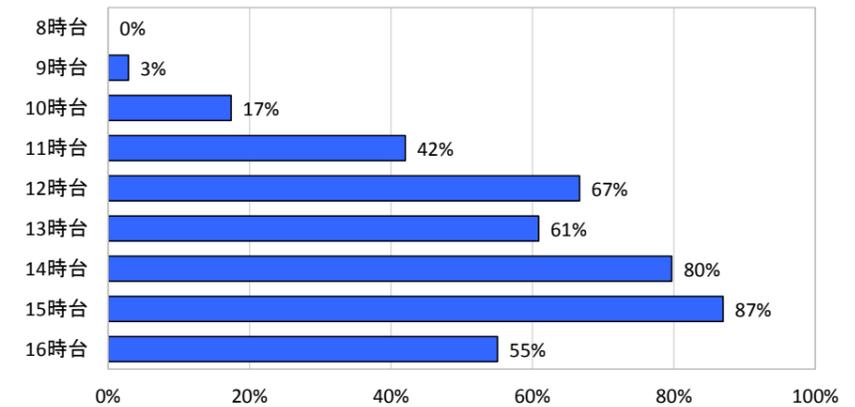
時間帯別の稼働率



行き(自宅から目的地)の移動の稼働率



帰り(目的地から自宅)の移動の稼働率



稼働率 = 各時間帯での稼働便数 / 各時間帯の3ヶ月間の出庫可能回数 (69便)

(第一回地域公共交通会議資料より再掲)

3 まとめ

1 及び 2 の状況を踏まえ、平成 28 年 4 月からの乗合タクシーの運行（案）については以下のようにまとめる。

- 平成 28 年 4 月 1 日から「むらタク」の本格運行を開始する。
- 「むらタク」の利用対象地域は現状と同じ市南西地域とする。
 - ・ 残堀一丁目（江戸街道以南）
 - ・ 残堀二丁目から四丁目の全部
 - ・ 伊奈平の全域
 - ・ 大字三ツ木（横田基地内）
- 乗降場所は現状の市内 9 か所の公共公益施設に、次の 4 か所を追加する。
 - ・ 残堀・伊奈平地区会館
 - ・ 三ツ木地区会館
 - ・ 第二老人福祉館
 - ・ 緑が丘ふれあいセンター
- 運行時間等については現状のまま、午前 8 時から午後 5 時までとする。